



もてなしの心で語る わが街

# えな自慢

えな自慢  
えな祭 29

## 爪切地蔵尊奉納煙火

弘法大師が爪で刻む



▲爪切地蔵の仕掛け花火

### ひと口メモ

盆の送り火としても開催される爪切地蔵の花火大会。綱火と呼ばれるロケット状の種火で、灯籠や仕掛け花火などに点火する。最後に行われる三段式のロケット状の花火「送り火・行き別れ」は、一見の価値あり。ことしの開催は、8月16日(月)午後7時から。

弘法大師一夜の作と言われる霊験あらたかな山岡町久保原爪切地蔵の伝統花火。爪切地蔵とは、高さ2尺の一枚岩に、浅い線で地蔵尊の姿が彫刻されたもので、弘法大師が爪で刻んだと伝えられる。林昌寺の門前に祭られており、その姿は大きく傾いている。昔、村人たちが地蔵尊を真っすぐに起こしたところ災厄病難が起こったため、真っすぐにすれば厄が起こり、煙火の祭りを怠れば厄病災難があるとも伝わる。たいまつを使った独特の綱大仕掛け花火をはじめとする伝統花火と、現代の華やかな花火とのコントラストが微妙にからみ合い、ほかの地域の花火大会では味わえない魅力がある。その歴史は1720(享保5)年以前にさかのぼり、約290年の歴史と伝統技法を今日に伝える。地域の安全と五穀豊穡を祈り、約1,000発が打ち上げられる伝統行事で、市の重要無形民俗文化財に指定されている。

えな自慢  
30  
えな水

## 寿老の滝

長寿を祝う滝



▲寿老の滝

### ひと口メモ

滝や周辺施設を管理している市観光協会三郷支部の主催で、ことしも「寿老の滝・出店」が8月14日(土)、15日(日)、16日(月)の午前10時から午後1時半まで開催。出店では、五平餅などが販売される。

三郷町の寿老の滝は、西濃の養老の滝に対し、老いを寿ぐ(長寿を祝う)「寿老の滝」と名づけられた。屏風山のふもとで、三郷町と山岡町の境に位置し、人里離れた閑静な谷川の上流にある滝。落差は10尺で、水量が多いときは、左右2つになって流れ落ちる。

周りの緑と澄んだ水は癒しの空間になり、マイナスイオンが漂うリフレッシュの場として最適。夏には、多くの家族連れが水遊びに訪れる。滝の近くでは、わき水を飲むこともできる。



▲向かって右側の滝は、流水が岩のくぼみによって、噴水のように跳ね上がっているのが特徴(滝の上部から撮影)

次号は8月15日号  
発行日は8月13日(金)です

広報えな No.133  
2010年(平成22年)  
8月1日発行

発行 恵那市役所/編集 企画課広報広聴係  
岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1 ☎26-2111/☎25-6150  
<http://www.city.ena.lg.jp/> ☒info@city.ena.lg.jp

『広報えな』8月1日号、1部当たりの印刷経費は約9.5円(税込み)です。



恵那市安心安全メール配信システム  
登録用QRコード  
☐問い合わせ 防災情報課(内線317)

『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。  
この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい大豆油を使用したインキで印刷されています。

